

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00141)

事務事業名称	まちの湯ふれあい入浴			款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	156
現担当課名	高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	155		
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和49年度												
令和 2年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以上の区民	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	ふれあい入浴を利用することにより、公衆浴場が、高齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることができる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することを通じて、リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防につながるようにする。	活動指標	ふれあい入浴年間実施回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ふれあい入浴：毎週水曜日 (一部火曜日) に各浴場の決められた時間帯 (3時間) に低価格 (ワンコイン) で入浴を提供する。 まちの湯健康事業：月1~2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。本事業は、長寿応援ポイント対象事業である。	指標名 (1)	まちの湯健康事業年間実施回数
		指標名 (2)	ふれあい入浴年間延べ利用者数
		指標説明	まちの湯健康事業年間延べ参加者数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	994	1,026	939	1,005	477	988	47.5	73.6
活動指標 (2)	2 回	253	260	239	270	176	168	65.2	
成果指標 (1)	3 人	61,549	69,000	56,215	65,000	14,746	59,000	22.7	
成果指標 (2)	4 人	3,890	4,300	3,377	4,000	1,110	1,300	27.8	
事業費	5 千円	38,546	39,851	36,841	27,235	20,047	36,831	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、ふれあい入浴は令和2年9月まで、まちの湯健康事業は令和2年7月まで事業を中止しました。	
(内) 委託費	7 千円	38,531	39,831	36,828	27,093	19,978	36,810		
職員数	8 人	0.30	0.20	0.25	0.20	0.30	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	1,330	887	1,125	900	1,652	1,341		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	39,876	40,738	37,966	28,135	21,699	38,172		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	40,117	39,706	40,432	27,995	45,491	38,636		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	3,442	3,790	3,411	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	3,442	3,790	3,411	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	36,434	36,948	34,555	28,135	21,699	38,172		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 156

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	ふれあい入浴の実施	477	回	15,885
	まちの湯健康事業の実施	176	回	4,095
	その他（チラシ作成ほか）			67
事業実績	<p>ふれあい入浴の実施浴場数は19か所です。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年9月まで事業を中止しました。再開後の1回あたりの平均利用者数は30.9人です。</p> <p>まちの湯健康事業の実施浴場数は14か所です。令和2年7月まで事業を中止しました。再開後は176回の実施で参加者数は1,110人でした。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内の公衆浴場は、昭和49年度の111か所から減少し続けて、令和2年度は19か所になりました。ふれあい入浴については、「自宅にお風呂があっても、銭湯のほうが気持ちいい」「風呂掃除が辛くなったので有り難い」「指定の曜日・時間帯に行くことは難しいので、いつでも利用できると嬉しい」などの声が寄せられています。</p> <p>まちの湯健康事業は、「参加者の多い日は、体操に必要なスペースを確保できない」との声があり、各浴場に見合った定員数を決めました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>ふれあい入浴は、実施時間を3時間に延長して再開しました。利用者の声を聞きながら実施していきます。</p> <p>まちの湯健康事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講師の方とも共有しながら実施していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>ふれあい入浴の1回あたりの平均利用者数は、コロナ禍以前は概ね65人程度でしたが、令和2年度は30.9人でした。新型コロナウイルス感染症の影響で半年以上、事業が中止であり、再開後も利用を控えている方が多かったと考えられます。</p> <p>まちの湯健康事業は、再開にあたり感染防止対策による人数制限を行ったため、令和2年度の参加者数は減少しています。</p>
評価と課題	<p>各浴場が新型コロナウイルス感染症対策を行い事業を再開できましたが、利用者数は減少しており結果として、1人あたり経費が上昇することになりました。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの実施とあわせて、ふれあい入浴については周知・利用方法の見直しも検討していきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00142)

事務事業名称	風呂っと杉並	款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	157	
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	156		
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成13年度											
令和 2年度担当課名	高齢者施策課						事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	60歳以上の区民 (平成26年度より、対象年齢を「50歳以上」から「60歳以上」に変更)	根拠法令等 (1) (2)	杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公衆浴場を、60歳以上の高齢者の自主グループに、いきがい・健康づくりなどの活動の場として提供することで、高齢者の活動・交流を推進していく。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	風呂っと杉並事業を実施する浴場数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内の公衆浴場を、高齢者の健康活動の場として60歳以上4名以上のグループに有料 (利用料は浴場によって異なる) で提供する風呂っと杉並事業 (杉並浴場組合自主事業) に要する経費について、運営費を助成する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	年間実施回数 年間延べ利用人数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	7	10	8	10	5	9	50.0	28.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 回	341	348	261	348	79	216	22.7	
成果指標 (2)	4 人	2,200	2,436	1,635	2,436	528	1,296	21.7	
事業費	5 千円	3,431	3,545	2,709	1,987	557	1,393	特記事項 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年6月まで事業を中止しました。また1回あたりの事業支援費を減額しました。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.20	0.20	0.25	0.20	0.30	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	887	887	1,125	900	1,652	1,341		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	4,318	4,432	3,834	2,887	2,209	2,734		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	616,857	443,200	479,250	288,700	441,800	303,778		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	1,772	1,772	1,772	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	1,772	1,772	1,772	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	2,546	2,660	2,062	2,887	2,209	2,734		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 157

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	風呂っと杉並運営費補助		5	所
	その他（ ）			
事業実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年6月まで事業を中止しました。再開後は、5浴場で全79回実施しました。内容は主に体操・ヨガ・ゲーム・民謡・手芸等です。			

令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>本事業が開始された平成13年度は、区内公衆浴場が56か所ありましたが、令和2年度は19か所になりました。</p> <p>事業開始当時の実施浴場数は15か所でしたが、平成20年度から令和元年度は7～9か所になり、令和2年度は5か所でした。</p> <p>令和2年3月要綱を改正しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和2年度は利用方法を、登録団体による継続利用から利用ごとの申込書・報告書の提出方法に変更しました。健康維持・促進を目的とした活動団体の利用を続けていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、6月まで事業を中止していたため、79回実施528人の利用実績でした。実施浴場数も5か所になり、毎月の実施回数も減少しました。</p>
評価と課題	<p>利用方法の変更により、新しい団体の実績もありました。しかし浴場組合の自主事業の認知度は低く、事業の周知活動の継続は必要です。</p> <p>また同日に利用を希望する自主グループが重なった場合の、受付方法に関する公平性の可視化なども今後進めていく必要があります。</p>

令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>事業目的・内容を浴場組合と確認し、実施可能な浴場の検討増加に努めます。委託事業のまちの湯ふれあい入浴事業とあわせて、事業内容の周知を継続します。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00143)

事務事業名称	いきいきクラブの支援				款 04	項 01	目 02	事業 012	整理番号	158
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	157
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和33年度	実行計画事業	目標 04	施策 13	計画事業 01					
令和 2年度担当課名	高齢者施策課						事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会	根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条、第13条第2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動を積極的に行い、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。 いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化を推進し、会員増加を支援する。	活動指標 指標名 (1) いきいきクラブ加入者数 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数に応じて、助成する。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) いきいきクラブ加入率 指標説明 いきいきクラブ加入者数 ÷ 60歳以上の人口 (当該年度4月1日現在) 指標名 (2) 1か月の社会奉仕活動回数 (クラブ当たり) 指標説明 社会奉仕活動回数 ÷ 全クラブ数 ÷ 12月

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	5,356	5,200	5,185	5,000	4,944	4,800	98.9	82.4
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	3.6	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2	97.1	
成果指標 (2)	4 回	10.8	12	8.9	12	7.0	12	58.3	
事業費	5 千円	22,822	23,988	22,718	23,930	19,730	23,350	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	前年度事業費からの減及び執行残の主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛により、いきいきクラブ・いきいきクラブ連合会への助成額が減少したためです。	
(内) 委託費	7 千円	19	20	20	20	18	20		
職員数	8 人	1.10	1.00	1.10	1.10	1.00	1.10		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	9,269	6,830	7,902	7,902	7,065	9,353		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	32,091	30,818	30,620	31,832	26,795	32,703		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	5,992	5,927	5,905	6,366	5,420	6,813		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	2,447	2,631	2,505	2,626	2,409		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	2,447	2,631	2,505	2,626	2,409	2,613	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	29,644	28,187	28,115	29,206	24,386	30,090		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 158

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	いきいきクラブ助成（いきいきクラブ連合会 1・各いきいきクラブ 66）	67	団体	19,674
	福祉大会・都市交流等事業	1	団体	34
	その他（連絡用郵券の購入ほか）			22
事業実績	<p>いきいきクラブ（66クラブ）が、社会奉仕活動や友愛活動（5,514回）、健康増進活動（4,586回）、いきがいを高める活動（3,836回）を実施しました。</p> <p>いきいきクラブ連合会及び地区連合会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉大会、スポーツ大会、東吾妻町とのグラウンドゴルフ大会による交流懇談会等を中止しました。連合会の運営に必要な活動や、一部の講習会等は、開催方法を工夫するなどして実施しました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>昭和33年度、3クラブで開始し、平成5年度に会員数のピーク（12,071人）、平成10年度にクラブ数のピーク（100クラブ）となりました。令和2年度は、66クラブ、会員数4,944人です。</p> <p>高齢者人口は年々増加していますが、新規加入者より退会者が多くクラブ数及び会員数は年々減少しています。</p> <p>会員からは、「コロナ禍で思うように活動ができなかったが、工夫して会員同士の交流の機会を持つようにしている。」という声や、会員の高齢化が進み、「区やいきいきクラブ連合会への提出書類の作成が困難になってきている。また、役員の後継者がなく困っている。」という声もあります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向となっており、区でもいきいきクラブ加入者数の減少と、それに伴う活動の縮小が予測されます。</p> <p>高齢化が進む中で、活動の継続と活性化を推進して会員増加を図るため、いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会に対する支援を継続していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>いきいきクラブ加入者数の目標未達の要因は、就業卒業年齢の上昇や高齢者の居場所の多様化による新規加入者の減少や、既存会員の高齢化による退会者数の増加にあると推定されます。</p> <p>1か月の社会奉仕活動回数（クラブ当たり）の目標未達の要因は、会員数の減少による活動の衰退化と、新型コロナウイルス感染症の拡大による活動自粛によるものと推定されます。</p>
評価と課題	<p>いきいきクラブは、社会奉仕活動や健康増進活動、いきがい活動を通じて、高齢者の社会参加に一定の成果をあげてきました。しかし、高齢者人口は年々増加しているにも関わらず、いきいきクラブでは会員の減少や高齢化が進んでおり、活動回数も減少傾向にあります。また、コロナ禍による活動自粛により、その傾向がより顕著になっています。</p> <p>より一層ボランティアや友愛活動など地域の支えあいにつながる活動や、会員以外も参加できる行事の企画を推進し、いきいきクラブの魅力や地域の高齢者に発信する取組に対する支援を行うことで、新規加入者数の増加と退会者数の減少と、新規クラブ設立の促進を図ります。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者が、地域の中で様々な活動を通して生きがいを感じ、地域とのつながりや高齢者同士の支えあいを実感することで充実した日々を送り、地域包括ケアを実現するために、地域の互助組織であるいきいきクラブの存在は必要不可欠です。</p> <p>会員の減少や高齢化は進んでいますが、長年続いている活動を助け合いながら継続しているクラブや、仲間づくりのための新たな活動を始めるクラブを今後も支援していきます。</p> <p>また、後継者が見つからないまま役員が高齢化しているクラブの中で、大きな負担となっている会計処理や区への提出物の作成について適切な指導や助言を行うことにより、クラブの維持ができるよう、支援していきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00144)

事務事業名称	シルバー人材センター支援	款	04	項	01	目	02	事業	013	整理番号	159	
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	158	
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援							予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和53年度											
令和 2年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	公益社団法人杉並区シルバー人材センター	根拠法令等	(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援する。	活動指標	就業実人員数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付を行う。	指標名 (1)	指標の計画値は、シルバー人材センターの目標値を使用している。
		指標名 (2)	年度末現在会員数
		指標説明	実契約件数
		成果指標	月単位で実績のあった受託件数の累計
		指標名 (1)	会員の就業率
		指標名 (2)	就業実人員数 ÷ 年度末現在会員数
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	1,955	2,050	1,974	2,095	1,801	2,050	86.0	98.3	
活動指標 (2)	2 人	2,729	2,800	2,697	2,850	2,630	2,800	92.3		
成果指標 (1)	3 件	7,373	7,841	7,188	7,950	5,911	6,260	74.4		
成果指標 (2)	4 %	71.6	73.2	73.2	73.5	68.5	73.2	93.2		
事業費	5 千円	146,923	155,262	142,663	140,134	137,718	136,016	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.33	0.40	0.40	0.40	0.40	0.50		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	2,781	3,370	3,487	3,487	3,401	4,252		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	149,704	158,632	146,150	143,621	141,119	140,268			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	76,575	77,381	74,037	68,554	78,356	68,423			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	137,209	146,137	133,655	131,126	128,624	127,773			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 159

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	シルバー人材センター運営助成			137,668
	その他 (負担金の支出ほか)			50
事業実績	<p>シルバー人材センターの事業実績は、契約件数5,911件、事業収入778,495千円です。契約件数の内訳は、有料自転車駐車場管理等の公共事業120件、民間企業の事業585件、独自事業21件、一般家庭の事業5,147件、労働者派遣事業38件です。地域貢献活動として「シルバー孫の手」事業は、68件実施しました。</p>			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>区の総人口に占める60歳以上の区民の割合は、昭和54年は8.6%で、令和2年4月は25.6%です。シルバー人材センターの会員数は、昭和54年度末は1,280人で、令和2年度末は2,630人です。65歳までの継続雇用の定着、更なる雇用延長が進む中で、ここ3年は微減となっています。</p> <p>年間を通じて実施しているお客様満足度調査においては、総合評価で75点以上が大半を占め、好評価を受けています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>シルバー人材センターは、令和元年度から5年度までの中期計画「れいわライジングプラン」を基に、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する役割を果たしていきます。</p> <p>また、中間期にあたる令和3年度に環境の変化等を踏まえた計画の見直しが予定されていますが、区は引き続き、シルバー人材センターの健全な発展を支援していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和2年度の対計画比で就業人員が85%、会員数が92%、契約件数が74%となっています。</p> <p>原因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入会説明会を休止したこと、退会する会員が増加したこと及び接触を伴う受託事業の休止、受注停止をしたことによるものです。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、就業人員、会員数、契約件数が令和2年度の目標を大きく下回ることになりました。</p> <p>新型コロナ感染症の終息の目途が立つまでの間は、万全の感染防止対策を講じながらの事業運営をしなければならぬため、接触を伴う受託事業の休止など事業収入にも大きな影響が及びます。</p> <p>今後は、コロナ終息の目途が立たない現状を踏まえて、区民の新しい生活様式の変化に対応した業務の受注や地域における社会貢献活動などの運営上の工夫について助言していきます。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、接触を伴う受託事業の休止など事業収入にも大きな影響が及びます。引き続き、これまで取り組んできた事業の検証を踏まえて、スクラップ・アンド・ビルドの視点での取組が進むよう必要な助言を行います。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00145)

事務事業名称	高齢者いきがい活動支援	款	04	項	01	目	02	事業	014	整理番号	160
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	159
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和58年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 2年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上の在住・在勤者	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館設置条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようにする。	活動指標	指標名 (1) 杉の樹大学講座開催数 指標説明 指標名 (2) 高齢者の就業・起業個別相談会実施回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉の樹大学を法人に委託し各種講座の企画運営を実施する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託し実施する。	成果指標	指標名 (1) 杉の樹大学受講者数 指標説明 指標名 (2) 高齢者の就職成立件数 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	33	33	24	24	24	24	100.0	100.0	
活動指標 (2)	2 回	21	24	22	24	18	24	75.0		
成果指標 (1)	3 人	27	150	109	150	86	150	57.3		
成果指標 (2)	4 人	9	20	11	20	10	20	50.0		
事業費	5 千円	9,999	10,493	8,641	5,969	5,968	6,479	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	9,965	10,457	8,614	5,969	5,968	6,479			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.94	0.90	0.80	0.70	0.91	0.70		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	6,962	6,785	6,131	5,259	6,623	5,234		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	16,961	17,278	14,772	11,228	12,591	11,713			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	513,970	523,576	615,500	467,833	524,625	488,042			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	7,318	7,836	6,233	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	7,318	7,836	6,233	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	9,643	9,442	8,539	11,228	12,591	11,713			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 160

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉の樹大学運営委託	1	所	3,667
	高齢者の就業・社会参加支援委託	1	所	2,301
	その他 ()			
事業実績	<p>杉の樹大学事業は、年間3期各8回の講座 (延べ86名) を実施しました。 高齢者の就業・社会参加支援事業は、個別相談を18回 (延べ65名) 実施し、6名が就業しました。 就業セミナーを1回開催 (延べ15名参加) し、4名が就業しました。</p>			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>区の高齢化率 (65歳以上の総人口に占める割合) は、昭和50年7.4%、平成元年11.4%、令和2年4月には20.8%と増加しています。 杉の樹大学事業は、昭和59年に直営で開始し、現在は公募型プロポーザルにより運営を法人に委託しています。 元気高齢者地域活躍推進事業は、平成29年度から実施しましたが、令和元年度で廃止しました。 高齢者の就業事業は、令和2年度に元気高齢者地域活躍推進事業から移行した就業セミナーや個別相談の事業を法人に委託しています。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の一部を中止又は変更して実施しました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により従来の生活様式の変化を求められている高齢者にとって、地域デビューや就業を支援することは重要であり、今後も本事業を継続して実施していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>杉の樹大学については、会場となる施設が6月まで休館になったことから、前期講座はオンライン配信、中期・後期については定員を減少させるなど感染予防対策をしたうえで教室を再開しました。その後も感染症による受講控え等もあり、延べ86名の参加になりました。 高齢者の就業・社会参加支援事業でも、6月まで会場施設が休館であったため、7月から事業を開始した影響もあり、活動指標である高齢者の就職成立件数20件に対し、10件の実績となり、目標には達しませんでした。なお、以前の成果指標である社会貢献スタッフ事業が令和元年度をもって廃止となったため、今年度より活動指標と成果指標を変更しました。</p>
評価と課題	<p>高齢者の就業・社会参加支援事業では新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業の開始時期が遅れましたが、相談件数は前年度より13件多い165件でした。就業体験は感染症の影響で実地体験は行えず、高齢者活動支援センターでの講義と模擬実習となりましたが、参加者からはおおむね好評でした。杉の樹大学の開催は、前期講座をオンライン配信により実施した結果、自宅で受講できることから前期の参加者数は前年度に比べて増加しましたが、受講者同士の交流機会がなく受講時間も短いとの意見もありました。中期・後期については、人数を縮小して通所形式で実施しましたが、今後も感染予防対策を実施しながら継続する場合、受講者の減少や一人当たりのコストの増加などの課題が生じることとなります。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
	II 事業の改善の方向性	
予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者自身がICTを活用してコミュニケーションを広げたり社会参加を進めるよう、杉の樹大学では、デジタルデバйд解消のためのICT関連講座を実施します。 高齢者の高い就業意欲に応えるため、就業に関する情報提供や個別相談、就業体験セミナーの充実により、高齢者の就業機会の拡大を図ります。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00162)

事務事業名称	ゆうゆう館の運営	款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	171	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設担当係			連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	173		
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和38年度											
令和 2年度担当課名	高齢者施策課						事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者、NPO法人等の協働事業実施団体	根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	NPO法人等との協働により、ゆうゆう館の管理運営を効率的かつ利用者にとって魅力ある運営を行う。	活動指標	協働事業実施回数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	協働事業年間参加者数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等に委託する。効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見交換を行う。	成果指標	ゆうゆう館部屋稼働率
		指標名 (1)	
		指標説明	使用した回数 ÷ 使用可能枠数
		指標名 (2)	協働事業参加者の満足度
		指標説明	(大いに満足 + 満足) ÷ 参加者数 利用者アンケート結果より

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度 実績	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度 計画	令和 2年度 対計画比 (%)	令和 2年度 予算執行率 (%)	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績				
活動指標 (1)	1 回	10,801	10,500	9,691	10,500	5,261	7,000	50.1	98.0	
活動指標 (2)	2 人	117,804	117,000	105,222	117,000	40,182	77,000	34.3		
成果指標 (1)	3 %	51.6	50	51.7	50	36.5	50	73.0		
成果指標 (2)	4 %	97.1	90	97.8	90	94.2	90	104.7		
事業費	5 千円	265,583	274,978	274,155	276,536	271,063	256,719	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	3,295	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	261,113	270,509	270,468	271,715	267,502	255,846			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	2.42	2.00	2.46	2.00	2.17	2.00		
	上記以外の職員	9 人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	20,391	16,852	21,446	17,436	18,452	17,006		
	上記以外の職員	11 千円	2,471	2,471	2,464	2,464	2,902	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	288,445	294,301	298,065	296,436	292,417	273,725			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	26,400	28,029	30,757	28,232	55,582	39,104			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	3,952	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	3,952	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	284,493	294,301	298,065	296,436	292,417	273,725			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 171

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	ゆうゆう館受付等業務委託（うち協働事業館32館）	32	館	267,456
	協働事業館支援事業の実施（備品・消耗品購入）	4	館	3,408
	ゆうゆう館評価委員会及び選定委員会開催	6	回	199
	その他（ ）			
事業実績	<p>32館（ゆうゆう広場1館含む）で、年間5,261回の協働事業が行われ、延べ4万人を超える参加者がありました。利用した人数は186,749人でした。</p> <p>ゆうゆう館協働事業実施団体の評価は、平成27年度に開始した6団体及び平成30年度に開始した7団体を対象に、評価委員会を3回開催して実施しました。</p> <p>また、令和2年度に協定期間が満了となる1館を対象に、協働事業実施団体を募集したところ、2団体から応募があり、選定委員会を3回開催して1団体を選定しました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館（うち協働事業館9館）で行っていましたが、平成23年度から区内32か所あるゆうゆう館の全てが、受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。ゆうゆう館の運営は順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケートのほか、直接、利用者からも満足との評価を得ています。また、利用者のニーズに合わせて内容を取り入れるなど協働事業を幅広く行っています。一方、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での部屋の確保ができなくなり、自主活動がやりづらくなったなどの声が寄せられています。なお、ゆうゆう阿佐谷館及びゆうゆう馬橋館は令和3年1月にコミュニティふらっとに転用され、ゆうゆう広場は令和3年1月に開設のコミュニティふらっとと東原へ集約されました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢人口の増加に伴い、高齢者の活動の場としてのゆうゆう館の必要性は、今後も大きく期待されます。高齢者のニーズに対応した館運営を行うために、区は評価及び選定を通して事業者への指導や支援を行います。その一方で、杉並区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は、多世代が身近な地域で交流することができる地域コミュニティ施設（コミュニティふらっと）へと段階的に再編整備されることになっています。再編後もコミュニティふらっとにおいて、高齢者が社会参加や交流、いきがい活動の拠点の場としての役割を継承していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>協働事業参加者の満足度においては、目標値より高い数値を得ることができました。一方、ゆうゆう館の協働事業実施回数や協働事業参加者数、部屋の稼働率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため国が発出した緊急事態宣言に伴い、ゆうゆう館を令和2年4月1日から6月7日まで休館し、また、令和3年1月12日から3月21日まで閉館時間を午後8時までとしたうえ、高齢者の活動は午後5時まで（3月28日まで継続）とした影響もあり、目標値を大幅に下回りました。</p>
評価と課題	<p>ゆうゆう館は高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の拠点となっています。今後も、地域に根差した施設として、高齢者の満足度がさらに上がるよう運営を行っていきます。</p> <p>また、杉並区立施設再編整備計画では、地域コミュニティ施設（コミュニティふらっと）への転用・再編整備を進めることとなっており、ゆうゆう館の機能継承が円滑に行われるよう関係課と連携しながら進めていきます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の場として、利用者の満足度がさらに上がるよう協働事業の充実や受付業務の向上を委託事業者と連携を取りながら図っていきます。また、リモート等を通じて、コロナ禍における利用者との新しいつながりの事業を進めていきます。</p> <p>ゆうゆう館のコミュニティふらっとへの転用・整備については、引き続き関係各課と協力しながら取り組めます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00163)

事務事業名称	三療サービス	款	04	項	01	目	02	事業	034	整理番号	172	
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	174		
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和48年度											
令和 2年度担当課名	高齢者施策課						事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	60歳以上の区民	根拠法令等	(1) (2)	杉並区三療サービス事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	マッサージやはりによる施術を受けることにより、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進・健康増進を図り、いきいきと暮らせるようにする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	三療サービス利用者数 ゆうゆう館でのサービス利用人数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館で行うマッサージによる施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。高齢者活動支援センターでは、マッサージやはりによる施術を指定管理者が同協議会に再委託して実施する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	利用率 利用者数 ÷ (当該年度4月1日付け) 60歳以上の区民

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	5,128	5,760	4,655	5,616	2,151	5,328	38.3	91.3
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	3.5	3.9	3.2	3.8	1.5	3.6	39.5	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	12,249	12,250	11,051	10,339	9,444	11,636	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和 2年度三療サービスの事業費が大幅に落ち込んだ原因は、年度当初から6月中旬にかけて新型コロナウイルス感染拡大防止のため、高齢者活動支援センターや各ゆうゆう館が休館となったためです。	
(内) 委託費	7 千円	11,901	12,077	10,992	10,022	9,153	11,244		
職員数	8 人	0.10	0.10	0.50	0.90	1.10	0.90		
上記以外の職員	9 人	0.90	0.90	1.00	0.30	0.30	0.00		
人件費	10 千円	843	843	4,359	5,736	7,197	5,137		
上記以外の職員	11 千円	2,780	2,780	3,080	924	1,088	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	15,872	15,873	18,490	16,999	17,729	16,773		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	3,095	2,756	3,972	3,027	8,242	3,148		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	6,296	6,265	6,265	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	6,296	6,265	6,265	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	9,576	9,608	12,225	16,999	17,729	16,773		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 172

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	三療サービス（ゆうゆう館）事業委託	2,151	人	7,985
	その他（シーツの洗濯料ほか）			1,459
事業実績	<p>ゆうゆう館31館を施術場所とし、毎月39回・年間468回実施しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度当初から6月中頃までの間ゆうゆう館が休館となり、三療サービスが休止となりました。</p> <p>このことにより、年間実施回数は大きく減少し365回に留まり、利用者数は2,151人まで落ち込みました。これは、1回あたりの利用人数が半分程度に下がったことによりです。</p>			

令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>ゆうゆう館における利用数は、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込みましたが、令和元年度までは毎年同水準の利用傾向でした。</p> <p>また、高齢者活動支援センターにおける利用数も、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込みましたが、令和元年度までは毎年同水準の利用傾向でした。高齢者活動支援センターは平成24年5月以降指定管理者制度に移行し、指定管理者と杉並区高齢者三療サービス連絡協議会との契約になったことから、事業予算は指定管理料から支出する形に変更しました。平成29年度にはプロポーザルにより同一の指定管理事業者に更新されました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区の施設再編整備計画に基づくゆうゆう館の地域コミュニティ施設への転換が進められています。地域コミュニティ施設では三療サービスが実施できないため、転換されるゆうゆう館の近隣のゆうゆう館で施術機会を増やし、地域での施術提供量を維持できるようにしていきます。</p> <p>また、利用者が固定化する傾向がみられますが、より多くの方に利用していただくため、ホームページやゆうゆう館での周知を強化していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>ゆうゆう館における利用数は、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込み、計画に対する実績値は38%程度です。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度当初から6月中頃までの間ゆうゆう館が休館となり、三療サービスが休止となりました。</p> <p>このことにより、年間実施回数は大きく減少し365回に留まり、利用者数は2,151人まで落ち込みました。これは、三療サービスが施術者と利用者の距離が近いこともあり、1回あたりの利用人数が半分程度に下がったことによりです。</p>
評価と課題	<p>利用者の高齢化が一層進んでいることから、ゆうゆう館運営団体と連携して、利用者の健康管理面に特段の注意を払っていきます。</p> <p>また、施術者の質の向上や接遇力の向上を支援していくために、利用者の声を反映させ、三療サービス連絡協議会との意見交換を積極的に行っていきます。</p> <p>更に、ゆうゆう館運営団体の協力も得ながら、三療サービスの具体的な効果を確認するとともに、介護予防・健康増進に向けた実施方法などについて検討します。</p>

令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>健康増進や介護予防事業につなげていく取組として引き続き実施していきます。</p> <p>また、区の施設整備再編計画に基づくゆうゆう館の地域コミュニティ施設への転換を踏まえ、残るゆうゆう館における三療サービスの提供機会の維持などについて検討していきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00164)

事務事業名称	敬老事業	款	04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	173
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	175
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和25年度										
令和 2年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	敬老会 75歳以上の高齢者 祝い品 75歳(28年度まで)、81歳(令和2年度まで)、90歳(29年度より)、100歳以上の高齢者	根拠法令等 (1) (2)	老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 杉並区敬老事業実施要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を過ごし、意欲や活力が高められるようにする。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	敬老会参加者数 祝い品贈呈者数(81歳、90歳、100歳以上)
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 対象者に敬老祝い品(81歳、90歳)、長寿祝い品(100歳以上)を贈呈(戸別配送)する。 在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつ、区長が訪問し、直接贈呈を行う。	指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	敬老会来場率 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う開催中止による 祝い品交換率 交換者÷対象者数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標(1)	1 人	5,129	6,600	6,322	6,800	0	3,600	0.0	77.9
活動指標(2)	2 人	6,064	6,400	5,907	5,894	5,852	2,455	99.3	
成果指標(1)	3 %	8.1	10.0	9.8	10.2	0.0	5.5	0.0	
成果指標(2)	4 %	98.2	100	97.6	98	97.3	98	99.3	
事業費	5 千円	34,856	39,882	35,330	23,739	18,493	46,226	特記事項	
(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	前年度事業費から減じた主な理由は、敬老会が中止になったためです。 予算執行残の主な理由は、敬老祝い品の落札された単価及び実績数量が当初の見積より減じたためです。 なお、令和3年度から、81歳が敬老祝い品の対象年齢ではなくなります。	
(内)委託費	7 千円	13,588	14,133	13,801	129	112	20,156		
職員数	8 人	1.80	1.70	2.18	1.50	1.00	1.90		
上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.00	0.30	0.30	0.00		
人件費	10 千円	13,969	10,332	14,237	10,967	7,784	12,920		
上記以外の職員	11 千円	309	309	0	924	1,088	0		
総事業費(5+10+11)	12 千円	49,134	50,523	49,567	35,630	27,365	59,146		
単位当たりコスト((12-6)÷1)	13 円	9,580	7,655	7,840	5,240	0	16,429		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	8,731	8,785	8,034	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計(14+15+16+17)	18 千円	8,731	8,785	8,034	0	0	0	
差引:一般財源(12-18)	19 千円	40,403	41,738	41,533	35,630	27,365	59,146		
受益者負担比率(14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 173

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	敬老祝い品贈呈	5,852	人	18,493
	その他 ()			
事業実績	敬老祝い品は81歳と90歳と100歳以上の方にカタログギフトによる祝い品を贈りました。さらに、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し長寿を祝い、花束の贈呈をしました。敬老会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止しました。			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>対象である75歳以上の人口は、敬老事業が開始された頃と比較すると、昭和27年は約3,000人、令和元年は約66,000人で22倍となります。</p> <p>敬老会は、昭和25年から開催が始まり、令和元年度では3日間計9回公演となりました。</p> <p>祝い品については、100歳以上の長寿祝いが平成2年度から、81歳の祝い品が平成12年度から (令和2年度で終了)、75歳の祝い品が平成15年度から (平成28年度で終了)、90歳の祝い品が平成29年度から開始され、現在に至っています。敬老祝い品のカタログギフトは、個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、楽しみにしているという声が多数あります。一方で、申込み方法が難しい、商品が高齢者向けでないといった理由で、金券を望む声も寄せられました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>81歳の祝い品を令和2年度で終了したことにより、令和3年度は対象者が減少します。令和4年度以降は、高齢者人口の増加に伴い、対象者の増加が見込まれます。また、令和3年度から、90歳と100歳以上の祝い品の品目をすぎなみギフトカード (区内共通商品券) に変更します。</p> <p>敬老会については、対象の75歳以上の人口が年々増加し、開催回数の更なる追加が必要となっています。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和2年度の敬老会は中止となりましたが、敬老会の対象者は年々増え、来場者率は、令和元年度9.8%と対象者の1割に迫っており、今後も増え続ける見通しです。</p> <p>敬老祝い品の交換率は高い水準で推移していますが、対象者の死亡・転出や、自由意志による交換の辞退などにより、成果目標の98%は未達となっています。</p>
評価と課題	<p>敬老祝い品については、交換率もよくおおむね好評でした。令和3年度に大幅な事業内容の見直しを実施しました。見直し後の事業内容に寄せられる意見や、高齢者人口のさらなる増加をふまえ、事業のあり方を検討していきます。</p> <p>また、敬老会については、民間業者と契約し広告収入をあげつつ、団塊の世代が参加対象となるのを見据え、敬老会のあり方を検討していきます。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>敬老祝い品について、高齢者の増加を視野に入れながら、より適正な形での実施へ見直ししていきます。</p> <p>敬老会の開催については、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症防止対策をしつつ、開催する方向ですが、今後は75歳以上の高齢者の増加を視野に入れながら、より適正な形での実施へ見直ししていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00165)

事務事業名称	長寿応援ポイント事業				款	04	項	01	目	02	事業	036	整理番号	174	
現担当課名	高齢者施策課		係名	長寿応援ポイント担当		連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	176					
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	02							
令和 2年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民	根拠法令等 (1) (2)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 杉並区長寿応援ポイント事業運営会議設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者の外出を促し、健康長寿や社会参加を応援するとともに、地域包括ケアへの取り組みの中で、地域のささえあいが進展することを目指す。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	活動登録グループ件数 (新規) ポイント交換者数 (延べ)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区が認定した「地域貢献活動」等への高齢者の参加に対してポイントを配布する。貯めたポイントは、地域貢献活動団体に助成する目的で設置した長寿応援ファンドや各種基金等への寄附及び区内共通商品券の交換等に充てる。 業務は民間事業者への委託により行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	65歳以上の高齢者でいきがいを感している人の割合 区民意向調査による

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	87	100	78	90	36	60	40.0	83.2
活動指標 (2)	2 人	8,068	9,500	7,374	8,000	4,865	5,000	60.8	
成果指標 (1)	3 %	75.5	90.0	75.5	93.5	78.0	95.0	83.4	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	97,213	97,799	97,462	99,650	82,896	99,346	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響による活動停止等の影響により、前年度に比べ事業費が減少しました。	
(内) 委託費	7 千円	37,942	38,877	38,810	40,296	39,643	41,259		
職員数	8 人	1.50	1.50	1.10	1.00	1.00	1.50		
	9 人	0.00	0.00	0.00	0.40	0.40	0.00		
人件費	10 千円	12,639	12,639	9,590	8,718	8,503	12,755		
	11 千円	0	0	0	1,232	1,451	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	109,852	110,438	107,052	109,600	92,850	112,101		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,262,667	1,104,380	1,372,462	1,217,778	2,579,167	1,868,350		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	16 千円	21,268	20,901	20,463	21,969	21,827	22,275		
	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	18 千円	21,268	20,901	20,463	21,969	21,827	22,275		
	19 千円	88,584	89,537	86,589	87,631	71,023	89,826		
受益者負担比率 ((14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 174

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	長寿応援ポイント事業業務委託			37,629
	商品券の購入			33,500
	事業紹介冊子、ポイントシール、封筒等印刷			1,489
	長寿応援ポイント事業活動認定会議等の開催	5	回	120
	その他 (電子複写機賃貸借・保守、消耗品購入ほか)			10,158
事業実績	<p>令和2年度末の登録活動数は1,415件で、令和元年度末の1,500件から約5.7%の減少となりました。長寿応援ファンドを活用し、高齢者の健康づくりや、誰もが住みやすいまちづくりを進める活動として、2団体に助成を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、令和3年4月現在では、120,157人に増加しています。</p> <p>高齢者の活動参加へのポイント配布については、「参加意欲が向上する」「新規参加者を活動へ誘うきっかけとなった」等の声が届いています。その一方で、ポイント取得を前提としたボランティア活動に対する疑問や、事業の効果が見えにくいという意見も寄せられています。</p> <p>また、長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、「事業実施の環境が整ったことで、充実した活動ができた」等の評価を得ています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>高齢化社会においては、高齢者が地域活動への参加を通して共に支えあい、いきいきとした高齢期を過ごすことができる社会を目指す取組が必要となります。本事業についても、地域包括ケアシステムの枠組の中で、より一層介護予防や地域貢献活動を促進する事業となるよう、事業の見直しを進めます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和2年度末の登録活動数は、1,415件 (新規36件) となりました。新型コロナウイルスの影響もあり、登録を廃止する団体が121件 (令和元年度は61件) と増加しました。</p>
評価と課題	<p>平成21年度の事業開始以来、登録活動数は増加を続けてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少に転じました。</p> <p>本事業の開始により、様々な地域活動が行われるようになった一方で、参加者の固定や事業の効果が見えにくい等の課題もあります。</p> <p>また、地域に貢献する公益的な活動や、様々な世代を支援する活動に対して助成を行う長寿応援ファンド助成については、申請数、助成活動数ともに減少傾向にあります。</p> <p>今後の高齢化社会を見据え、ポイント交換の仕組み等が、より公平で効果的なものになるよう、見直しを進めます。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症の今後の影響次第で参加者数の増減が見込まれますが、予算は現状維持とし、引き続き課題を整理しながら事業を見直します。また、長寿応援ファンドについても、引き続き検討・見直しを行います。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00225)

事務事業名称	高齢者活動支援センターの維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	012	整理番号	230
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設担当係		連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	230			
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和58年度												
令和 2年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	高齢者活動支援センター、高齢者ゲートボール場	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役の地域拠点として社会参加の拡充を図る。 高齢者の自主的団体活動を支援し、新たな生きがい作りや仲間作りを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。 スポーツ活動 (ゲートボール) を通じて高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。	活動指標	高齢者活動支援センター登録団体数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○60歳以上の区民の福祉の増進を図るため、各種相談や健康増進、介護予防、教養の向上、レクリエーションに関するもののほか、生きがい活動の支援や多世代との交流を実施するために設置された高齢者活動支援センターの維持管理を指定管理者により行う。 高齢者ゲートボール場を管理・運営する。	指標名 (1)	団体利用回数
		指標説明	
		成果指標	高齢者活動支援センター利用率
		指標名 (1)	講座室等利用回数 ÷ 利用可能枠数
		指標説明	
		指標名 (2)	ゲートボール場利用率
		指標説明	利用回数 ÷ 利用可能枠数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 団体	82	80	75	80	82	80	102.5	100.0	
活動指標 (2)	2 回	2,833	2,800	2,697	2,800	1,676	2,500	59.9		
成果指標 (1)	3 %	68.2	85.0	69.4	85.0	51.2	70.0	60.2		
成果指標 (2)	4 %	51.1	60.0	49.3	60.0	44.9	50.0	74.8		
事業費	5 千円	64,965	65,665	65,620	65,999	65,989	65,977	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	64,881	65,561	65,560	65,895	65,893	65,893			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.48	0.40	0.53	0.40	0.47	0.40		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	4,044	3,370	4,621	3,487	3,996	3,401		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	69,009	69,035	70,241	69,486	69,985	69,378			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	841,573	862,938	936,547	868,575	853,476	867,225			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	69,009	69,035	70,241	69,486	69,985	69,378			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 230

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	運営管理 (指定管理者)			65,579
	建物管理委託			33
	賃借料の支出			55
	ゲートボール場清掃等委託			281
	その他 (光熱水費、消耗品購入費など)			41
事業実績	<p>高齢者活動支援センターの利用者のため、電位治療器の借り上げ及び保守管理を行いました。 高齢者ゲートボール場の利用者が快適に使用できるように便所清掃や樹木剪定等ゲートボール場の維持管理を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>高齢者活動支援センターは昭和58年の開設後、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、平成24年5月からはより効果的かつ効率的な運営の下、利用者がより一層利用しやすい施設とするため指定管理者制度を導入しました。また、平成29年度には、はつらつルームを保育室に転用しています。利用については、高齢者団体から行政が講座室・多目的室を使用する頻度が高いとの意見が寄せられました。</p> <p>高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、令和2年度末では7団体となっています。利用者からはグラウンドの整備や樹木剪定等の要望が寄せられました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>高齢者活動支援センターの利用率は、これまで70%前後の水準で推移してきましたが、コロナ禍が終息するまでの間、利用率の低下が今後見込まれます。</p> <p>高齢者ゲートボール場登録団体数は、ゲートボール人口の増加が見られないことから、今後も減少していくものと見込まれます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>高齢者活動支援センターの利用率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国が発した緊急事態宣言に伴う施設の休止を4月1日から6月15日まで行ったほか、令和3年1月12日から3月21日まで施設の開設時間を午後8時まで短縮したうえ、高齢者の活動を午後5時まで (3月28日まで継続) としたため、利用率の目標値を大幅に下回りました。</p> <p>ゲートボール場の利用率も同様に休止期間を設けたため、目標値を大幅に下回りました。</p>
評価と課題	<p>各講座室と多目的室の稼働状況は合わせて66%の状況で稼働し、中でも多目的室は77%の稼働率ですが、コロナ禍の影響による休館等もあったため、その率は昨年度より下回りました。各講座室と多目的室は高齢者団体の使用が半数以上を占め、高齢者のいきがい活動等の支援に寄与しています。また、運営する指定管理者と区との役割分担を明確にしておき、特に指定管理者が実施する「地域懇談会」は、地域の関係者と意見交換を行うなど施設の円滑な運営に役立っています。今後も地域活動の拠点となるよう、指定管理者と区の連携の強化を図りながら円滑な運営に取り組めます。</p> <p>高齢者ゲートボール場については、高齢者の健康維持に寄与していますが、一部の利用者に限られ、また利用団体数が大幅な減少傾向にあります。今後の施設のあり方について検討を進めます。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者活動支援センターでは、利用者の意見に基づく利用方法の改善や地域活動の拠点として社会参加の充実を図る事業等について、指定管理者と引き続き協議・検討を行います。</p> <p>高齢者ゲートボール場の使用については、一部の利用者に限られ、また、その利用団体数は減少傾向が顕著になっていますが、高齢者のいきがい活動を支援するため、施設の維持管理を行います。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00226)

事務事業名称	ゆうゆう館等の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	013	整理番号	231	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設担当係	連絡先電話番号				1153	昨年度整理番号	231				
上位施策No・施策名	13 高齢者の社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和38年度													
令和 2年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	ゆうゆう館	根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点として、ゆうゆう館が高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。	活動指標	年間延べ利用者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者がゆうゆう館32館(ゆうゆう広場1館含む)を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。	指標名 (1)	利用団体数 (高齢者活動登録団体)
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	442,872	460,000	395,007	460,000	186,749	230,000	40.6	90.7
活動指標 (2)	2 団体	1,172	1,150	1,155	1,150	1,125	1,150	97.8	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	75,793	81,629	75,690	181,129	164,298	64,543	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和3年度の事業費が令和2年度に比し、39.3%減となったのは、令和2年度にゆうゆう西田館の児童青少年センターへの増築移転工事があったためです。	
(内) 委託費	7 千円	32,267	33,359	31,942	130,284	120,473	29,134		
職員数	8 人	1.92	1.60	1.93	1.60	1.84	1.60		
上記以外の職員	9 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00		
人件費	10 千円	16,178	13,482	16,826	13,949	15,646	13,605		
上記以外の職員	11 千円	618	618	616	616	726	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	92,589	95,729	93,132	195,694	180,670	78,148		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	209	208	236	425	967	340		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	92,589	95,729	93,132	195,694	180,670	78,148		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 231

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	光熱水費の支出		32	館	26,893
主な取組	施設保守管理委託		32	館	21,352
	消耗品購入、修繕、家屋等修繕		32	館	15,176
	ゆうゆう西田館移転工事		1	館	76,396
	その他（物品・機器リース、電話料金、物品保守委託、負担金の支出ほか）				24,481
事業実績	<p>ゆうゆう館の利用者が安全かつ快適に利用できるように。施設修繕、施設保守管理委託などを行うとともに、老朽化した物品の買い替え及び不足している物品の購入を行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、トイレ手洗いを自動水栓に改修しました。</p> <p>ゆうゆう西田館は児童青少年センター及び男女平等推進センターを増築し、そこへ移転するための工事を行いました。</p>				

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、利用者が安全かつ快適に施設を利用することに貢献できました。しかし、築50年以上のゆうゆう館が半数を占めていることから、老朽化に伴い施設維持に必要な修繕が増えてきています。今後も杉並区立施設再編整備計画の進捗状況も確認しながら、優先して修繕する建物及びに設備を精査し、引き続き利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行います。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>築40年以上の施設が半数以上を占め、建物や設備の老朽化が進んでいますが、令和4年度においてもその修繕や保守点検を的確に行い、施設の維持管理を行います。</p> <p>また、令和4年4月にコミュニティふらっと成田の開設に伴い、ゆうゆう浜田山館が集約されるため、令和3年度に比べ、令和4年度の維持管理は削減方向になります。</p>	